

積乱雲に伴って、このような災害が発生します！

被害をイメージして
回避しよう！

急な大雨による災害

雷による災害

竜巻による災害



⚠ **増水と雷** に注意が必要
溪流・河川敷・中州・親水公園における
釣り・キャンプ・バーベキュー・水遊び など



危険な場所や状況は…
⚠ **雷** に注意が必要
ゴルフ・サッカー・野球などの屋外スポーツ公園、海・山におけるレジャー など



危険な状況
避けるには…

雷から身を守る
には…

竜巻から身を守る
には…

- 1 雨が降り始めたり、空や川に異変を感じたら、**すぐに水辺から離れる**
●上流に降った雨で、急に増水することがあります。
●サイレンの音は、ダム放流の合図です。
危険！ × 水かさが増え、濁ったり、枝などが流れてくる時は危険です。

- 2 **浸水した場所に注意**
危険！ × 大雨のときは地下室や地下街は水が流れ込み、危険です。
●浸水した道路では、側溝が見えずマンホールのふたが外れている場合もあり危険です。
●地下を通る道路など低い場所では通行に注意が必要です。



- 1 **雷鳴が聞こえたらすぐ避難**
●雷鳴が遠くても、雷雲はすぐに近づいてきます。
屋外にいる人は安全な場所に避難しましょう。

- 2 **建物の中や自動車へ避難**
●建物や屋根付きの乗り物（自動車など）へ避難しましょう。
危険！ × 雨宿りで木の下に入るのは大変危険です。

- 3 **木や電柱から4m以上離れる**
●側撃雷の恐れがあるので、木や電柱から4m以上離れてください。
右の図の三角の範囲内は比較的危険は小さいですが、なるべく早く屋内の安全な場所に避難しましょう。
●近くに避難する場所が無い場合は、姿勢を低くしましょう。



冊子「雷から身を守るには」（日本大気電気学会編集）から引用

- 1 **頑丈な建物の中へ避難**
●避難するときは屋根瓦などの飛来物に注意しましょう。
●避難できない場合は、物陰やくぼみに身をふせましょう。
危険！ × 車庫・物置・プレハブ（仮設建築物）への避難は危険です。

- 2 **屋内でも窓や壁から離れる**
●家の中心部に近い、窓のない部屋に移動しましょう。
●窓、雨戸を閉め、カーテンを引きましょう。
●頑丈な机の下に入り、頭と首を守りましょう。

